



とよたの未来を
考えよう!

豊田市都心地区空間デザインをかんがえる。

カスタマイズとよた!

第3回 市民ワークショップ

日時: 9月4日(日)

開場: 9:40

開始: 10:00

場所: 豊田市役所東庁舎7階大会議室

プログラム

- 10:00 ご挨拶
- 10:05 前回WSの振り返り
- 10:10 豊田市より説明
- 10:15 未来部会より発表
- 10:20 つくる・つかうチームからの提案内容説明
- 10:35 各班ワークショップ (50分)
- 11:25 — 休憩 (5分) —
- 11:30 各班発表
- 12:20 座長よりコメント
- 12:30 終了のご挨拶

シンボルとなる広場—知的な好奇心を刺激する駅前—

矢作口のテーマは文化！

文化のあるストリート

仮設のステージ
毎日音楽を流す
ライブイベント
映画祭

小川のようにゆるゆると歩ける道
飲みに行ける場所（飲み会ではない）
夜間照明がおしゃれ
木陰がある。
60歳以上が増えることを考えて、何もなくてもたまれる場所。
おしゃれなストリート

タクシー乗り場の場所を変えたい

ギャザと広場をつなげたい。

デッキから人をおろしたい。

ストリートマーケット
オープンカフェ
マルシェ

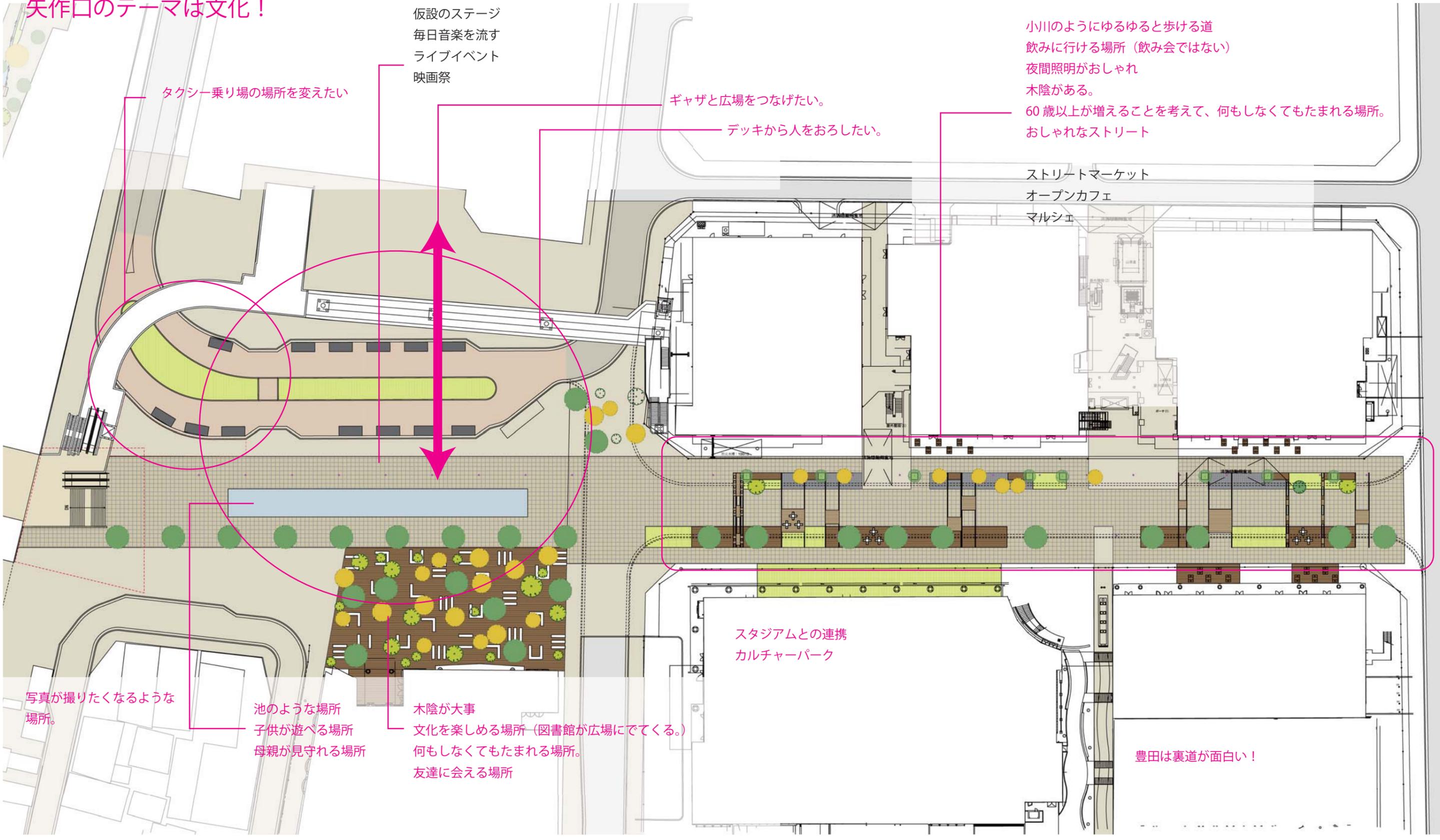
スタジアムとの連携
カルチャーパーク

写真が撮りたくなるような場所。

池のような場所
子供が遊べる場所
母親が見守れる場所

木陰が大事
文化を楽しめる場所（図書館が広場にでてくる。）
何もなくてもたまれる場所。
友達に会える場所

豊田は裏道が面白い！



- ・東口をメインで使っていく人は親子と高齢者
- ・水は子どもが遊びたくなる要素であり、水場で親子が遊んでいるアクティビティを高齢者が見守っているようなほっこりする空間

GAZA 前ロータリーのあり方

- ・自動車より人のための空間へ
- ・道を広場として、イベントなどで活用
- ・将来の交通のあり方にも対応できる場づくりが必要
- ・ランニング、ウォーキングコース
- ・イベント、スポーツ観戦などのパブリックビューイング

高齢者・子育て世代が過ごしやすい場

- ・家の中にいる高齢者の見守りは難しい。街の中に出てきてもらえる場づくり
→テントを設置して広場等でワンコイン健康診断サービス
- ・テイクアウトできる飲食店舗
- ・ちょっとした休憩
- ・友達との談笑（飲食をテイクアウトしてきて）
- ・高齢者の見守り場所
- ・道沿いのフリーマーケット
- ・朝市（マルシェ）
- ・オープンカフェ

フルモール化

- ・フルモール化に対して反対という意見もあり

南北の行き来がしづらい

- ・豊田市の顔がない
- ぱっと見てお洒落な街が見える視点場

街の顔 + 子どもの場所

- ・水と緑
- ・水場を芝生へ

- ・子どもを見守る場所
- ・日陰
- ・段差のない広場
- ・ハンモック等でゆったりできる場所
- ・『けんけんぱ』などの遊べる舗装
- ・緑陰読書

ガラスの屋根

- ・参考館とUFJの間にガラス張りの屋根

・高齢者が出てきたくなる場所

・雨に濡れない屋根

→ exp) 二子玉ライズ

・矢作川への歩行者動線の確保

建物の影

- ・建物によって街中に影が結構ある
- ・影のある場所に人の寄り付くモノをつくる

街の顔 + 子どもの場所

- ・顔となるモニュメント、子どもの遊び場となる水場
- ・子どもの場とセットで親が安心して子どもを遊ばせることができる見守る空間（可動式のベンチ、屋根、緑陰など）
- ・豊田＝自動車というイメージから豊田と言えば駅前に『森』のようなイメージ
→森らしく見える緑、道路を見せない exp) シンガポールの植物園
- ・水場ではなく道の真ん中を芝生にして親子の遊び場に
- ・子どもの遊び場所（水遊び）

街全体について

- ・お洒落な街、使われる空間を作る上で必要となるトイレやごみ箱、喫煙所などの基本的なものが必要

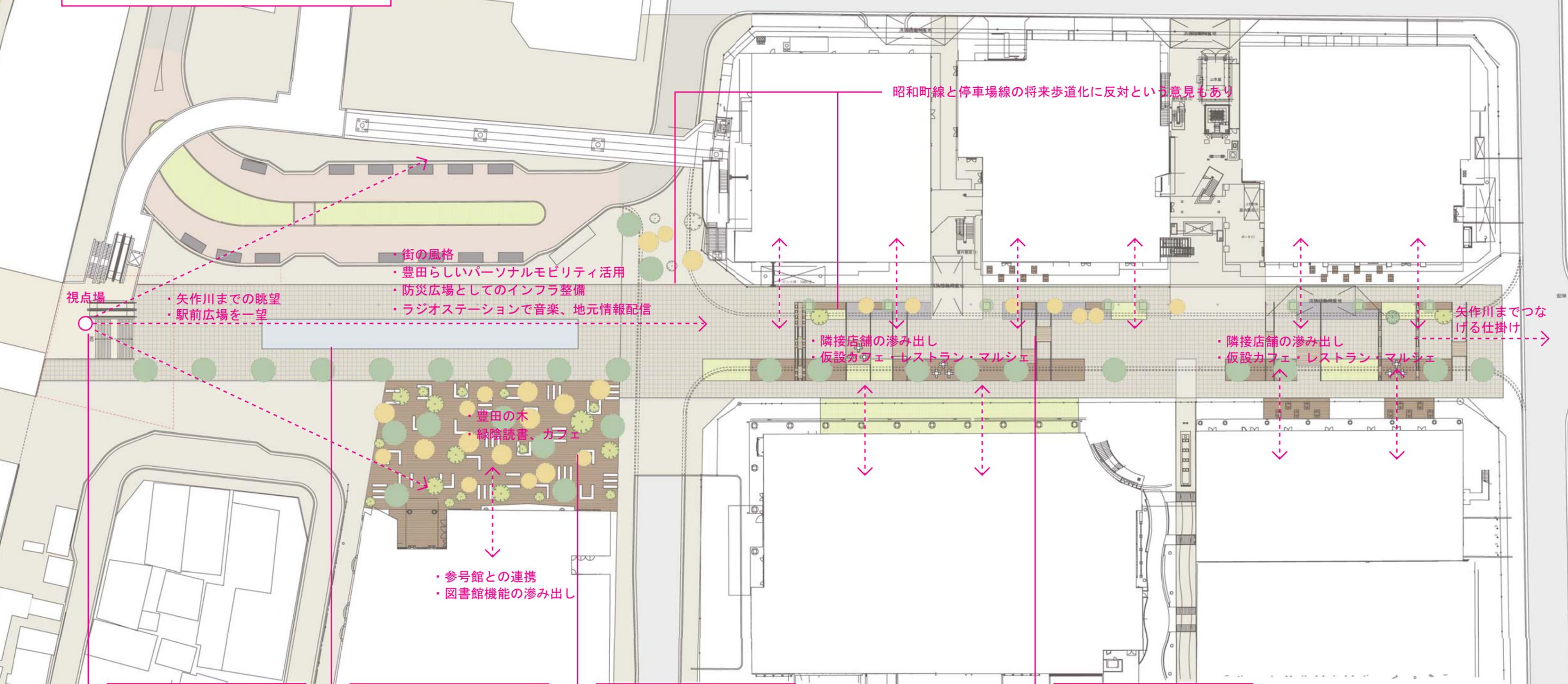
交通について

- ・街が使われるには街へ来る手段を考える必要がある。無料シャトルバスがあると都心に遊びに来てもよいと思える
- ・歩行者優先の都心としたときに車が入れなくなるので、街のフリンジには大型立体駐車場など車を受け入れる仕組みづくりが必要

その他

- ・ポケモンGOといった人を呼び込むコンテンツの活用

- ・豊田市駅東口は、全体的に豊田らしさの演出が必要
- ・東口広場は街の風格を表し、参考館前や停車場線で細かなイベントなどの賑わいを演出する
- ・停車場線で終わってしまうのではなく、矢作川までつなげる意識が必要
- ・矢作川の風景・雰囲気が感じられる仕掛け



豊田市駅東口駅前デッキ

- ・駅前から矢作川まで見通すことができるような眺望確保
- ・駅前広場を一望でき、豊田の街（らしさ）を一目でPRする
- ・眺望、視点場

豊田市駅東口駅前広場

- ・街の玄関口として風格のような見せ方が必要
- ・防災、イベント時のインフラ整備
- ・拳母祭りの見せ場にしたい
- ・パーソナルモビリティが行き来する豊田ならではの風景
- ・水と緑の憩いの広場
- ・噴水、親水広場
- ・パーソナルモビリティ活用広場
- ・ラジオサテライトステーション
- ・防災広場
- ・パブリックビューイング

参考館前広場

- ・高木が多い、木漏れ日の中の憩いのスペース
- ・豊田に植生する木を植樹
- ・読書やカフェなどちょっとした休憩スペース
- ・隣接する参考館や店舗の人たちの紹介板などの設置（地域の人の顔を見せる）
- ・読書
- ・カフェ

停車場線

- ・フルモール後にはいろいろなイベントが開催される道広場
- ・地元酒蔵などが出店する酒バー
- ・隣接店舗がしみ出す賑わい空間
- ・車社会なのでそもそもフルモールに反対
- ・酒バー
- ・カフェ・レストラン
- ・ライブ
- ・マルシェ

・愛環東側は車の通りが少なく、比較的シネマや子供の安全な遊び場として適しているのでは。
 ・ここなら、ちょっと危険な遊びもできる。
 アクティブなアトラクションができる場所。
 ・同じ目的でみんなが集まれるのが良い。

デッキ上からの目をひく、目立ちたい人の活動場所として活用

- ・スケートボード
- ・バスケットボール
- ・野外シネマ
- ・踊りの練習
- ・ムクドリをここに集約させる(?)

愛環東側：目立ちたい人が集える場所

視線を引き込む→観覧席をつくる
 デッキからのアクセスを良くする

- 緑地：
- ・維持しやすい低木
 - ・まわりに高木(森林のような)
 - ・芝生
 - ・ベンチ
 - ・ハンモック
 - ・夜間照明

- 立ち寄りのきっかけづくり
- ・地面にマス目、オセロ
 - ・丘陵
 - ・ベンチ(オープンすぎない、イチャイチャできる雰囲気)

シティプラザ：ステージ横目にくつろぐ場所

- テイクアウト 木陰：
- ・昼食を食べるベンチ

緑陰：親子が楽しめる場所

- せせらぎの活用
- ・生物を見つけられる場所として
 - ・街路樹の見直し

- 滞留空間と通路の関係
- ・通行人が、視線をゆるやかに遮る。
 - ・視線を遮る低木植栽を採用。

明るい色の舗装を採用

- ステージを活かす
- ・演奏会
 - ・読書
 - ・ナイトパーティー

- 子育て世代が使える
- ・ツリーハウス
 - ・アスレチック

十分な幅員を確保

日陰をつくり、建物側から人を引き込む

- ・ストリートパフォーマンス(アマチュアからプロまで)

テイクアウト 官民連携で建物をひらく

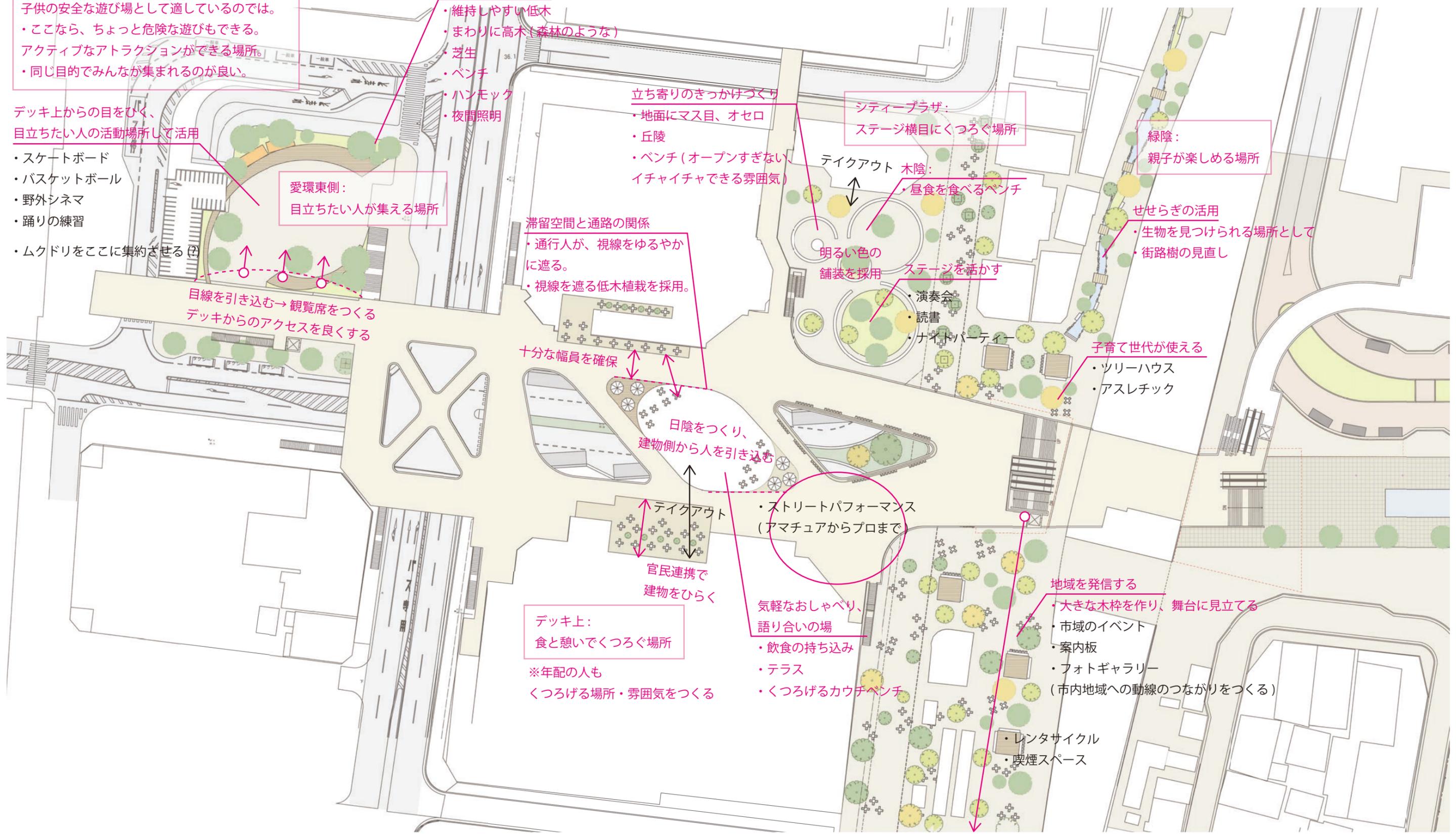
デッキ上：食と憩いでくつろぐ場所

※年配の人もくつろげる場所・雰囲気をつくる

- 気軽なおしゃべり、語り合いの場
- ・飲食の持ち込み
 - ・テラス
 - ・くつろげるカウチベンチ

- 地域を発信する
- ・大きな木枠を作り、舞台に見立てる
 - ・市域のイベント
 - ・案内板
 - ・フォトギャラリー(市内地域への動線のつながりをつくる)

- ・レンタサイクル
- ・喫煙スペース



『人』にやさしい
『日常』を大切に

- ①広場内のロータリーをなるべく無くしたい
- ②駅からの大階段、座れる、見守れる
- ③"みどり"をもっとたくさん！木陰が必要！
- ④大きな屋根があったらイベントができる

車寄せ：
ホテルと連動
・Hamo Stationのテスト活用

東口えきまえ広場：
色々な空間がある広場

- ・高木の軸がほしい
- ・祝祭生を意識し、東口は常に色々なことをやっていると思われる場所にしたい。

延伸デッキは本当に必要？
ただし、雨に濡れないのは重要

手摺のデザイン
手摺を感じさせないデッキ

東西の繋がり

視点場

階段：
座れる大階段

- ・座る
- ・ねころぶ
- ・ねころぶ
- ・みあわせる
- ・本を読めるスペース

ロータリー：
ロータリーなくしたい

植物・木陰

- ・山間部の植物
- ・シンボルツリー、イルミネーション

停車場線

- ・地域色のある朝市
- ・軽トラ市
- ・Hamo市

熱を感じさせない舗装

建物の底の連続

参号館前：
参号館との連動

- ・屋根があるとよい
- ・全天候屋根でイベント対応
- ・もっと緑が欲しい
- ・お洒落な空間に

